

◎海岸のゴミの実態

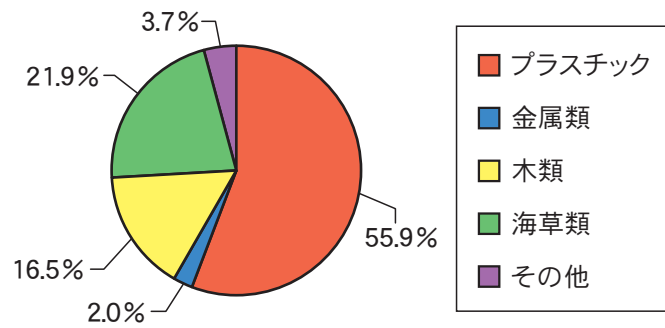
海岸は、多種多様な生物の重要な生息・生育環境の場であり、人々にとって憩いの場、レクリエーションの場として利用されています。

この素晴らしい海岸の環境を守る上で、今最も大きな問題の一つがゴミです。ゴミには、海岸を利用する人が捨てたもの、不法に投棄されたもの、台風などにより漂着したものと様々ですが、近年では、外国から漂着したと思われるものも増えています。



久美浜海岸の漂着ゴミの状況 (京丹後市久美浜町)

～京都府の海岸におけるゴミの実態調査～



平成13年度調査結果



由良海岸  
漂着ゴミの状況 (H16.10 台風23号)



浜詰海岸  
外国からの漂着ゴミ (H18.2)

◎重油流出事故

ゴミだけでなく、時には沖合で座礁したタンカーから流出した重油が漂着することがあります。京都府では近年だけでも、平成2年1月に「マリタイム・ガーデニア号」、平成9年1月に「ナホトカ号」からの流出した重油により、大規模な災害が起こりました。



神崎海岸の油回収作業状況 (H9.1)



海藻にからまった重油

◎海岸愛護活動

海岸のゴミに対して、日常的に地元のボランティアによる清掃活動や、自治体規模での一斉清掃活動などの取り組みが行われています。

京都府では、海岸を適正に管理するとともに、海岸愛護思想の普及、啓発に努めています。



一斉清掃活動 (久美浜海岸：京丹後市久美浜町)



久美浜海岸：京丹後市久美浜町



ボランティアによる重油回収作業状況 (琴引浜：京丹後市網野町)



京都府が開発した重油回収機：砂油離号

京都府では、「ナホトカ号」の事故を契機に「京都府地域防災計画（石油類流出事故対策計画編）」を制定し、油流出事故に対する関係機関及び関係団体等がとるべき予防対策、応急対策、そして、水産業等に被害を受けた場合の復旧計画を定めています。

◎海岸功労者表彰

(社)全国海岸協会では、海岸愛護思想の普及や、海岸環境の美化保全に尽力した等、海岸に関して特に功績のあった個人や団体を、海岸功労者として表彰しています。

京都府ではこれまで、

- 「琴引浜の鳴り砂を守る会」
- 「舞鶴の川と海を美しくする会」
- 「丹後ボランティアネット」
- 「天橋立を守る会」

等が表彰を受けています。